

平成 28 年 9 月 1 日
一般社団法人日本船主協会 総務部

「新東京丸」による東京港視察会を開催

当協会は、海運の重要性を一般の方々にご認識いただくべく広報活動に力を入れており、特に青少年を対象に海運や船員の仕事への理解増進に取り組んでおります。この夏、「海と日本プロジェクト」の一環として「船ってサイコ〜2016 せんきょう夏休みキャンペーン」と銘打ち、船に親しんでいただくための様々なイベントを展開しております。

同プロジェクトの一環として8月3日（水）、視察船「新東京丸」乗船による東京湾見学会を東京都港湾局の協力を得て開催し、35名の参加がありました。

「新東京丸」は、竹芝小型船ターミナルから出航し、芝浦ふ頭、品川ふ頭、大井コンテナふ頭、中央防波堤を出て東京ゲートブリッジをくぐりフェリーふ頭、青海コンテナふ頭付近を經由して竹芝ターミナル着岸まで約1時間30分にわたり東京港を見学しました。大型コンテナ船やセメント船などの貨物船を写真にとる方や、東京湾の貿易量、ガントリークレーン、港湾施設、船舶の航行規制などの説明に熱心にメモをとる方も多く見られ、実際に間近で船舶や港湾を見ることにより海運への認識が深まった見学会となりました。



▲視察会で乗船した「新東京丸」

当協会は、今後も皆様の生活を支える海運を広く知っていただくための活動を展開して参ります。



(左) 東京港の説明をする田中船長（日本船主協会）および（右）荷役中の内航船